

五百年、千年続く言葉には真理が秘められている

子供の頃、誰もが心打たれた物語の一つにアラビアンナイト(千夜一夜物語)の「アラジンの魔法のランプ」の話があります。ランプを擦ると魔神が出て来て願い事をことごとく叶えてくれる…。アラジンは大金持ちになり美しい嫁さんとお城で住むことが出来るようになったという話です。幼いころ、このようなオールマイティの力によって夢が叶う話に、誰もが心躍らされたことでありましょう。

「五百年も千年も続く言葉の奥には真理が秘められている。真理のない言葉は流行語のようにすぐに廃ってしまう」と教わったことがあります。昔から伝わるこのアラジンの物語にも深い哲理が込められていたことを、ご存知でしょうか？いや、誰も気付かなかった筈です。

何故ならば、それは言葉の奥に秘められた真理を読み解く「文字の言霊学＝光透波」の字割によって、初めて理解出来てくるからです。

一切は波動によって生み出されています

この宇宙は現代科学で認知されているように、全て波動によって成り立っています。驚くことに私達の身体も心も命も……。そして太陽も地球もあらゆるものも突き詰めて細分化してゆくと、波動の世界に入ってゆくのです。量子力学で明らかになっているように原子、素粒子、クオーク、さらにもっと精緻な「閉じた紐」の究極小の世界も突き詰めてゆくと波動によって成り立っているのです。

言葉は音であり波動です。そして言葉と切っても切れない私達の意識も波動の現われと理解出来ます。

言葉→コトハ→言波→「光透波」、すなわち光すら透明にする「光」の「透」明の「波」動の世界に繋がっているのです。聖書のヨハネ福音書では「初めに言葉ありき、言葉は神と共にありき、言葉は神なりき、すべてのものは言葉によって成った…」と表現しているのです。この「言葉」を「波動」に置き換えると、聖書の文言も現代科学の見解とピタリ一致し、全ては波動によって成り立っていることを暗示しているのです。

アラジンの魔法のランプの奥に秘められた深い哲理

さて、「アラジンの不思議なランプ」に話を戻し、その奥に秘められた意味を光透波の字割によって読み解いてみましょう。このときに使うのが光透波を啓かれた小田野早秧先生が世に出された50音の音霊の意味を読み解いた一覧表「天鏡図」です。その一覧表に当てはめて「アラジン」と「ランプ」の深意を解説すると以下のように読み解けてきます。

「アラジン」→「現 裸 字 云」

「裸」=そのままの姿

「裸」は「ネ」+「果」→「ネ」=「音」 音の結果 → 元素音50音の結果

「字」は「ウ」+「子」→「ウ」=「宇宙」 「子」=「音」

「云」=「運」

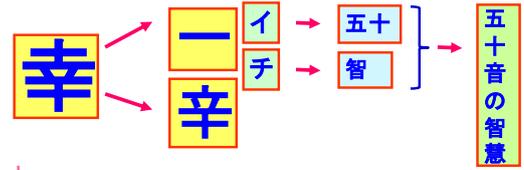
「アラジン」→「宇宙の音が運ばれ、その音のままの結果を現わす」意味に。

「ランプ」→「裸 云 父」

「父」は宇宙の父の意味に展開し、「創造主」

「ランプ」→「創造主の音のそのままの結果を運ぶ」と解せます。

以上のように解析してみますと「アラジンの不思議なランプ」は「音霊・言霊を使うことにより、あらゆる願い事が叶う」ことを暗示している比喩的な物語だったのです。

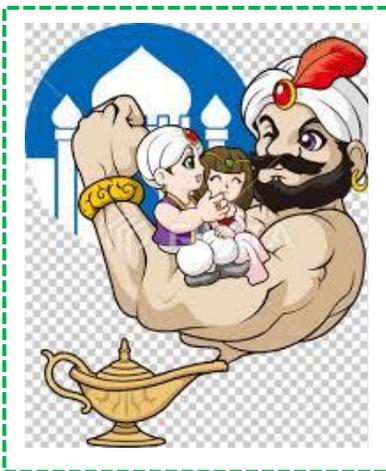


「幸」 - 「一」 = 「辛」

「辛」 + 「一」 = 「幸」

辛くても音霊50音の智慧を
加えれば幸せになれるのです。

ワンポイント
字割



言葉の活用によって健康と幸福の道が開かれます

まさに「音」→「オト」→「大答」、「音」は「言葉」へと展開出来ますので、「言葉」が如何に大切なものであるかが理解出来るのです。

「調」の字には「物事を調える」、実現する意味があります。「調」は「言+周」→「言葉によって周りが調えられる」ことを表現して文字です。まさに「アラジンのランプ」の深意をこの「調」は一文字にて表現しているのではないのでしょうか。

文字とか言葉が如何に不思議な、そして深い哲理が秘められたものであるか？感じられたことと思います。そして言葉→光透波を活用することによって、私達は幸福と発展の道を描くことが出来るのです。詳しくは本誌紹介の各地で開催しているセミナーへ……。

文責・宿谷

命波の會國

連載 — 10

渥美半島^{どうどう}百々海岸での「お日の出」参拝

【前号から続く】昭和59年(1984)1月3日、兄が渥美半島の太平洋側の綺麗な砂浜の百々(どうどう)海岸沖から立ち昇る荘厳な日の出の景色を発見して感動し、小田野先生と兄と母と私の4人は百々海岸の「日の出」を拝むことになりました。

これを機に翌年から百々海岸の正月「お日の出」参拝は名古屋の命波学の有志の間に広まり、毎年恒例の行事となりました。そのうち東京や関西からも命波学の仲間が元旦の朝に百々(どうどう)海岸に集まり、真っ暗闇の中から明け染める神々しい「お日の出」を拝むようになりました。



「お日の出参拝」百々海岸からの初日の出

この「お日の出」参拝の行事は昭和64年まで6年間続けられました。このような楽しい思い出と平行して私たち名古屋のグループは、小田野先生の命波学を兄を中心に学び研鑽を積み重ねていったのです。

楽しかった潮干狩りで貝を獲った思い出

ある年の夏、百々海岸へ出かけた折のことです。その年は異常気象だったのででしょうか？丸みのない蛤のような貝が大量発生していて、一般の人や漁師風の人が道具を持ち込み盛んに獲っていました。私達は道具の用意がないので少しだけ貝を取って夕食にお澄ましと焼き貝にしたところ味は蛤に似てとても美味しく頂きました。翌日、仲間に声をかけ道具を準備して百々海岸へ出かけました。母も兄も仲間達も私も面白いように獲れるので夢中で楽しんでいました。我が家だけでもバケツ5・6杯も獲れました。帰宅後、近所に配り多くは佃煮として有難く美味しく頂戴しました。

そして翌年の夏に百々の海岸へ出かけましたが全く貝は見当たりませんでした。人も疎らでした。昨年、業者が小舟で専用道具を使って根こそぎ獲り尽くしたとのことでした。私達もその乱獲に加担した・・・その貝は次の生命を繋ぐことが出来なくなったようです。人間の愚かさを考えさせられる実体験でした。が、もしかして外来種であれば生態系に支障をきたす・・・かもと思えました。

「お日の出」参拝で不思議な霊視、小田野先生との別れを……

昭和61年1月3日の百々海岸の「お日の出」の太陽を拝み、暫くして帰る際に私はもう一度、目の斜め上に昇られた太陽を拝んだ時です、太陽の真下に黒点が三つ「・・・」その下に「終」の文字がくっきりはっきり現れた

新装版「言霊・光透波の世界」 宿谷・磯部共著 ヒカルランド 全国有名書店で好評発売中
お近くの書店に無い時は書名・著書名でお取り寄せください。ネットでの購入も出来ます。
定価 2000円 + 消費税 光透波の会・宿谷までお申し込みの方は消費税カット

のを霊視したのです。そして、右側の空を見上げれば月が出ていて、太陽と月が並び「明」となるなあ〜とぼんやり見ていました。この霊視をどう解釈するのか後に気づくことになりました。

その霊視から3年後に突然、小田野早秧先生とのお別れの時がやって来ました。それは昭和63年(1988)1月11日(金)でした。

今日思えば、天のご意図により数々の啓示とご誘導を受けられて宇宙法則の大真理である「実光透波=命波理論」を纏め上げられた小田野早秧先生は、尾張の地の名古屋へ来られ、14年もの長い間、私たち兄妹を始め縁ある命波学の仲間に真剣に光透波理論をご教授下され、薫陶を与えて下されたのでした。そのご苦勞は大変な修行だったと思います。

何せ兄を筆頭に分からないことだらけでした。授受共々の苦勞を経て先生との学びの場は天の御誘導を頂き14年間をもって終焉となっていたのです。情感として申し訳ない別れの寂しさを噛み締めながらも、まだまだしっかりと受け留められていない自分自身の未熟さを覚えている次第です。

百々海岸での霊視の意味を読み解く

振り返りますと、小田野先生とのお別れは天意のご誘導であったことに気づかされました。それは渥美半島の百々の海岸にて「太陽の下の中の三つの黒点と終の文字」が出た霊視を解説すると、太陽は「主」の意、黒点三つは「三年」、その下の「終」の字は「終了」と読み解けます。つまり「主たる小田野先生との直接の学びは三年後に終焉となる」ことを、その時の霊視は事前に伝えられていたのです。既に示唆されていたことに漸く私自身の気持ちの整理が着き始めています。感情という存在は疎かに出来ません。

今年で小田野先生とお別れして36年となりました。読み解くと正に36=ミロクであり「富士は晴れたり日本晴れ」奇しくも今日、人類はミロクの理想世界へ大転換する時代を迎えています。

すべては縁起、天の誘導で生かされている

気づけば小田野先生との出会いもお別れも全て天のご意図であったと考えられます。そして、最近つくづく思うのですが、自分が思い自分で行動していると思っていたことは、実は全て操り人形のように、天のご意図によって否応なしに必要なに応じて人の道、神の道に目覚めるようにと、誰しもが誘導を受けているのではないかと気づくようになりました。すべては縁起であると思えてなりません。

最近知ったのですが、お釈迦様の最初の悟りは「すべて縁起」であると仰ったようです。所謂、人間は自分で考え行動していると思っているのですが、押なべて人の善も悪も相対的に捉えているものであり、全ては一人一人が覚醒する為に、必要なに応じて天の御誘導で与えられた場で経験を積んで生かされている…。人は覚醒する為に活着していると…。私はこのように理解し納得へと導かれているようです。精神的な学びを高めて下さりました小田野早秧先生に心から感謝申し上げます。有難う御座いました。 つづく 堀尾君子

5 月 光透波セミナーのご案内

●光の言波・真理教室 (第143回 光透波セミナー)

- 日 時 5月15日(月) PM 1:30~PM4:45
- 場 所 神明いきいきプラザ 集会室 B (4F) 東京都港区浜松町1-6-7
- 演 題 「人類の大転換期と光透波出現の意義」 J R浜松町(北口) 地下鉄大門 (B1) 4分
- 講 師 宿 谷 直 晃 ●参加費 3,000円

●Zoom入門講座

- 5月16日(火) PM 8:00~PM10:00 「⑩秘宝の伝授」
- 講 師 宿 谷 直 晃 ●参加費 3000円

●名古屋 命波学講座

- 日 時 5月22日(月) PM 1:00~PM4:00 基礎講座 第1回
- 日 時 5月24日(水) PM 1:00~PM4:00 基礎講座 第5回
- 日 時 5月29日(月) PM 1:00~PM4:00 和やか会
- 場 所 實光透波スペース 名古屋市名東区香南1-103-8-201
- 講 師 堀尾君子 ●参加費 各3,000円

※ 命波学受講希望の方は日時調整しますので、お問合せください。090-8499-5989

●名古屋 光透波塾 (光透波と神との関り)

- 日 時 5月12日(金) AM 10:00~PM 1:00 ・熱田神宮参拝と光透波講座の集い
- 演 題 「神の音 ナムの音のしくみ」
- 日 時 5月22日(月) AM 10:00~PM 1:00
- 演 題 「神と生命の原理」
- 場 所 熱田神宮 (集合は神宮会館前)
- 講 師 磯部賢一 ●参加費 各3,000円

※ お申込み、お問い合わせは磯部へ isoiso837@gmail.com 090-9199-0248

●Zoom 入門講座

- 5月11日(木) AM10:00~PM 0:00 「光透波の全体像」
- 5月18日(木) AM10:00~PM 0:00 「命のお話」
- 講 師 磯部賢一 ●参加費 各3,000円

●Zoom 中級字割実践講座

- 5月 3日(水) AM10:00~PM 0:00 「数とアルファベット変換」
- 5月10日(水) AM10:00~PM 0:00 「字は幾何学構造でできている」
- 5月24日(水) AM10:00~PM 0:00 「弥勒の仕組み」
- 5月31日(水) AM10:00~PM 0:00 「理論と文字の検証」
- 講 師 磯部賢一 ●参加費 各3,000円

●Zoom 個人レッスン (初回無料)

- 予約制 あなたの都合よい時間に受けられます。 一対一の対話形式で生活に密着した講座です。
- 参加費 ドネーション 1時間×3回コース、又は10回コース

※ Zoomのお申込み、お問い合わせは磯部へ isoiso837@gmail.com 090-9199-0248

●明石 言霊セミナー

- 日 時 5月14日(日) AM 9:00~PM 4:00
- 場 所 林仙山荘 (林和也宅) 兵庫県播磨町西野添2-5-12
- 演 題 「言霊 学びのサロン」 ●参加費 1000円
- 講 師 林和也 ※ 講座の申し込み先 090-8580-3776 (林まで)

光透波の会

- | | | |
|------------|--|---------------|
| 實光透波研究会 | 名古屋市名東区香南1-103-8-201 | 堀尾君子 |
| メールアドレス | s8910kimiko@yahoo.co.jp | 090-8499-5989 |
| 光透波塾 | 名古屋市熱田区旗屋2-16-4 | 磯部賢一 |
| メールアドレス | isobekk50@yahoo.co.jp | 090-9199-0248 |
| 光透波ワクワク塾 | 東京都品川区小山6-19-5 | 宿谷直晃 |
| メールアドレス | syu98-8do8@mbr.nifty.com | 090-2447-2037 |
| 光透波・言霊セミナー | 兵庫県播磨町西野添2-5-12 | 林和也 |
| | | 090-8580-3776 |

光透波のホームページ <http://kotohawanokai.web.fc2.com>